

平成28年度特別養護老人ホーム千寿の園事業報告書

- 理念 I 利用者・家族・職員の誰もが安心して生活できる「場」であること
II 自分の家族、自分が入居してもいいなと思えるケアを創ること
年度テーマ＝「熱き心と冷たい頭での実践（科学とヒューマンイズム）」
上記の理念に基づいて、事業を展開してきた。以下、報告する。

第1 概況

1 介護報酬改定に伴う影響

平成27年度に実施された介護報酬のマイナス改定は、全国調査でも特別養護老人ホームの3割が赤字とされているように次期改訂の30年度まで継続され、特に千寿の園のように多床室従来型の経営は一層厳しさを増している。

2 「要介護度3以上」が入居要件になった影響

特別養護老人ホームへの入居要件が要介護度3以上に限定されたことによって、入居対象者が大きく減少し、要介護度1・2でもあっても認知症等で家族介護が困難で今すぐ入居させたいと人は特別養護老人ホーム以外の施設を選択することが見られる。特例入所制度については市民に対して周知不足であり、また、市町の意見が必要なので対象者・施設側にとってのハードルは高くなっている。実質は「措置」に近い実態になっていると思われる。課題として、介護関係者に止まらず広く市民に特別養護老人ホームの特色や内容を周知・広報していく必要がある。

3 利用率（稼働率）

平成28年度の退去者は死亡25人・他病院への転院は1人で計26人が退去した。

人口集中下の首都圏では待機者が依然多く、施設不足が喧伝されているが、中東遠地区や菊川市では入居者確保が極めて困難になっている。

6月13日～7月11日にかけて全申込者160人に入居の意思をアンケートにより調査したが（回答数97人・60.6%）、回答者数の52人（53.6%）は申込継続の意思を示したが45人（46.4%）は申込を取り消した。更に要介護度1・2を除外し入居申込時期等を見ていくと要介護3以上ですぐにでも入居したいと回答した人は10人であった。

利用率は23年度99.3%、24年度99.0%、以降99%を割り込み、27年度97.7%、28年度98.0%と年を追って厳しさを増している。また、入居しても短期間に永眠される人が多く在所日数が減少している。

インフルエンザについては本年度も1月12日から利用者7人、職員4名の11名がさみだれ式に発生した。このため短期利用・面会等の停止措置を行ったことから、短期利用については延べ28人・中止日数77日、88万円の減収となったが、利用者の安全とご家族の安心をはかることができた。

4 修繕・改修工事について

28年度は予想されたほどの修繕工事がなく、当初予算400万円から第2次補正予算を250万円に減額し約184万円の支出で終わることができた。184万円の内訳は給排水設備工事343,000円・空調設備工事621,000円・電気設備工事207,000円・消防設備工事123,000円・その他修繕工事545,000円であった。

5 介護力向上（質のレベルアップ）への取り組み

水分補給・運動・自立排泄の取り組みは4年間を経過し28年度末では、テープ式オムツの利用者が2名（経管・経鼻各1の新入居者）となり、他はトイレに誘導し「トイレ排泄」が定着してきている。実践報告を8月の県高齢者福祉施設研究大会において「8人に1つのトイレでもオムツ外しはできる」とのテーマ発表を行った。フロアからはユニット型で1部屋1つのトイレでも出来ない、どうしたら出来るのかという質問もあった。

6 市内4施設共同の取り組みと公益事業活動

28年度市内4施設（千寿の園・喜久の園・松寿園・松秀園）共同でケアの質の均一性を図り、どこを利用しても市民に喜ばれる施設になるよう学習会を4/22・6/16・8/10・10/12・12/14の計5回開催した。4月16日には4施設を巡る「とくようツアー」を開催し8名の参加を得た。引き続いての地域貢献（連携）事業としては、地域ケア会議・地域ケア実務検討会の構成メンバー・菊川市立総合病院の事業評価委員、中東遠圏域認知症医療連携協議会委員、菊川市立総合病院及び市内社会福祉施設等連絡協議会の中心施設としても貢献してきている。26年度に発足した「菊川市地域医療を守る会」にも役員として参画している。

第2 全体の状況

1 利用状況（利用率）

平成28年度の利用率は、表-1・表-2のとおりである。28年度の後半期の11月以降永眠者が続き、11月に5人、3月にも5人と多くの人の永眠があり、新規入居者の確保に困難を極めている。同時に短期利用の利用者も減少しており、入居要件の厳格さと他の介護事業者の競争のあおりを受けていると同時に特別養護老人ホームの内容の周知につき工夫と努力が求められている。

表-1 入居者利用（稼働）状況表

| 年度 | 入居利用率 | 短期利用率 | 退去者数 | 入院日数 |
|--------|-------|-------|------|------|
| 平成26年度 | 97.4% | 72.7% | 37人 | 221日 |
| 平成27年度 | 97.6% | 68.8% | 25人 | 143日 |
| 平成28年度 | 98.0% | 63.9% | 26人 | 97日 |

※入院日数は利用率には含まない

表-2 90歳以上の入退去者状況 単位：人（入退去数における割合）

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|------------|-----------|------------|
| 退去者数 | 19 (51.4%) | 9 (36.0%) | 15 (57.7%) |
| 入居者数 | 10 (30.3%) | 8 (30.8%) | 8 (32.0%) |

2 経営状況（経営活動による収支）

平成28年度の収入は、315,380千円で、主な内訳は、介護保険収入311,133千円、その他収入3,093千円、償還金補助金1,154千円である。

一方、支出は、319,048千円で、主な内訳は、人件費233,402千円、事業・事務費等79,559千円、施設整備・借入金償還等6,087千円であった。また、借入金の償還は、福祉医療機構へ元金5,000千円、利息385千円、元利償還金合計5,385千円である。医療機構の借入金残高は残り5年間で25,000千円となっている。

<収入> (単位 千円)

| 区分 | 28年度 | 27年度 | 増減 |
|------|---------|---------|-------|
| 介護保険 | 311,133 | 308,245 | 2,888 |
| その他 | 3,093 | 3,196 | △103 |
| 補助金等 | 1,154 | 1,592 | △438 |
| 計 | 315,380 | 313,033 | 2,347 |

<支出>

| 区分 | 28年度 | 27年度 | 増減 |
|-----------|---------|---------|--------|
| 人件費 | 233,402 | 230,824 | 2,578 |
| 事務、事業費等 | 79,559 | 88,872 | △9,313 |
| 施設整備・償還金等 | 6,087 | 6,954 | △867 |
| 計 | 319,048 | 326,650 | △7,602 |

3 職員状況（部門別職員数）

平成28年度末の常勤職員は39名で、内訳は介護職員23名、看護職員5名、管理栄養士1名、事務室職員7名である。また、非常勤職員は、嘱託職員・派遣職員・医師を含め19名で全体の職員数は58名である。

(平成29年3月31日現在) (単位 人)

| 区分 | 事務室 | | | 介護職員 | 医務室 | 調理 | 計 |
|-------|---------------|-----------------|--------------|----------|----------|-------|----|
| | 施設長・副施設長・介護部長 | 相談員・主幹・事務・居宅・管理 | 送迎担当・清掃員・洗濯員 | 主任・副主任一般 | 看護師・嘱託医師 | 管理栄養士 | |
| 正規 | 3 | 6 | — | 22 | 5 | 1 | 37 |
| 非正規 | — | 1 | 8 | 7 | 3 | — | 19 |
| 計 | 3 | 7(1) | 8(8) | 29(7) | 8(1) | 1 | 56 |
| 28年同期 | 3 | 7(2) | 9(9) | 32(8) | 8(3) | 1 | 60 |

注) 1 () は、非正規職員 注) 2 育休中が 3 人 (介護職員)

年度途中退職が正非職員合計 5 人、途中採用は 2 人である。産休育休入りが 3 人、復帰 1 人であった。派遣介護職員を 4 人契約し年度内に終了している。新卒は高校卒無資格を 1 名採用した。人材確保は引き続き困難であり、途中での退職補充は極めて困難である。

4 施設整備等の状況

以下のとおりである。修繕費総額 1,839,000 円 ・ 新規・更新購入した主なもの

| 主要設備改修 | 金額 | 備品更新・購入 | 金額 |
|---------|-----------|-------------|-------------|
| 給排水設備工事 | 343,000 円 | ベッド中古 9 台一式 | 1,294,000 円 |
| 空調設備工事 | 621,000 円 | パソコン等 OA 機器 | 183,000 円 |
| 電気設備工事 | 207,000 円 | 中古軽自動車購入 | 180,000 円 |
| 消防設備工事 | 123,000 円 | | |
| その他修繕工事 | 545,000 円 | | |

5 特記事項

(1) 家族・利用者の声に耳を傾け寄り添う活動

①家族懇談会 6/4 (土) 開催一参加 34 家族 (40 名)

介護保険制度改正の現況、白翁会施設整備計画を報告しケアの日常として自力排泄等への取り組みについてビデオ上映を行った。アンケートでもトイレトレーニング、食事介護の評価があり、謝辞が多かった。全体説明後、グループ懇談を行った。

②入居者懇談会 6 月 6 日 (月) 3 階 8 名・29 年 3 月 9 (木) 3 階 8 名・3 月 10 日 (金) 2 階 15 名。出された要望として、もう少し長く風呂に入りたい、声をかけずに下膳する人がいる、実家に帰り墓参りをしたいなどが出された。

(2) 施設行事

①夏祭りー7 月 16 日 (土) 利用者家族 28 世帯 53 人・来賓 12 人・ボランティア 11 人、計 61 人参加。魚釣りや二人羽織、玉入れゲームなどを家族と共に楽しむことが出来た。

②花火大会ー8 月 17 日 (水) 4F 屋上で行い、花火と共にビールを足りなくなるまで、たくさん飲み盛り上がった。

③敬老祝賀会ー9 月 10 日 (土) 利用者家族 25 世帯家族 30 人・来賓 10 名参加。光陽荘バンド「ドロップス」の演奏を楽しんだ。

④新年祝賀会ー1 月 3 日 (火) 職員手作りの千寿神社に初詣をし、願い事をしたり昔の正月遊びを楽しみ往時を懐かしんだ。

第3 部門別の状況

1 管理・事務部門

(1) 全体運営（マネジメント）について

理念に基づいての実践を基本とし、運営基本方針としてP D C Aの徹底「計画無きところに実践なし」、報告連絡相談（ほーれんそう）の確立を二本柱に

- ①介護力向上の取り組みを推進（水分・自力排泄・経口摂取・認知症ケア等）すると共に研修事業を充実させていく。
 - ②リスク管理と予防マネジメントを行う（リスクマネジメント会議）。
 - ③利用者の声の聴取と寄り添い。
 - ④家族の声を聴取し、ニーズに依拠したケアを展開する。
 - ⑤地域と共同で防災訓練等実施し、防災対策を強化する。
 - ⑥介護力向上（オムツ外し・水分・運動）への取組の継続
 - ⑦在宅介護サービスの充実への取組
 - ⑧社会的貢献事業への取組
- を具体的な目標・指標として実践に取り組んだ。

(2) 事務、経理・備品、修繕等管理について

①事務・経理

- ア 決められた期日までに伝票入力を済ませ、残高確認、月次決算報告書を作成し、施設長（予算管理者）に資金収支計算書等を提出した。
- イ 事業計画・予算の執行状況の把握に努め、予算の執行状況を管理・精査した。
- ウ 管理運営会議で各部署に予算の執行状況を伝え、効率化・有効活用を進めた。
- エ 顧問会計士・社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンスとモラルを遵守し法人の規程を熟知し、正確かつ迅速な事務処理を心掛けることが出来た。

②建物・備品等修繕

- ア 決算上は近年になく減額となっているが、経年劣化による工事は早まっている。
- イ 電力経費の削減対策に取り組んだが7～8月のマックスの数値を下げることは困難な状況であるとの判断で新たな取り組みは行えなかった。
- ウ 委託契約等の内容を整理し、契約伺・契約書写しを一冊にファイル化した。
- エ 床清掃業務委託を精査し不要な床部分等を外し軽減に努めた。

(3) 諸会議開催状況

①職員全体会 3回

- ア 第1回－6月3日（金）
 - a 27年度事業・決算状況報告
 - b 28年度の事業「合同慰霊祭・寺院と縁を繋ぐ活動
 - c 地域貢献活動
 - d 居宅支援事業所の3人体制
 - e 各委員会方針説明
- イ 第2回－10月28日（金）

- a 白翁会ストレスチェック方針の説明 b 学習会「感染症予防と初動対策」
 ウ 第3回－ 3月23日(木)
 a 平成29年度法人、施設事業計画案の説明 b 介護力向上委員会よりの
 報告「現時点での到達点について」
- ②管理運営会議 12回(4/25・5/27・6/24・7/25・8/25・9/23・10/28・11/25・12/27・
 1/26・2/23・3/23)
- ③専門会議(委員会)
- ア 介護部主任・副主任会議 12回(4/25・5/27・6/24・7/25・8/25・9/23・10/28・
 11/25・12/27・1/26・2/23・3/23)
- イ トライアングル会議 2階フロア 15回(4/25-3・5/27-3・6/24-5・7/25-3・
 8/21-2・8/25-3・9/12-3・9/23-4・10/12-3・10/28-4・
 11/25-4・12/27-3・1/26-2・2/23-2・3/23-2) 3階フロ
 ア 12回(4/20-4・5/27-3・6/24-3・7/25-4・8/25-3・
 9/23-3・10/28-3・11/25-3・12/27-3・1/26-3・2/23-3・
 3/23-3)
 ※トライアングル会議＝フロア別主任副主任会議
- ウ 介護部フロア会議 2階フロア 5回(4/25-14・7/11-11・10/5-9・12/16-8・
 2/10-10) 3階フロア 4回(7/8-14・12/20-10・2/14-11)
- エ 介護部グループ会議 大空 4/25-8・10/5-5・2/10-6 輝き 4/25-6・10/5-4・
 2/10-4 若さ 5/27-7・7/9-8・9/29-6 愛 4/25-6・
 7/8-5・10/7-7
- オ 医務室会議 6回(4/27・6/30・8/31・10/31・1/12・3/9 各参加人数は6人)
- カ 介護力向上委員会 12回(4/25-11・5/27-11・6/24-10・7/25-8・8/25-9・
 9/23-10・10/28-10・11/25-9・12/27-8・1/26-9・2/23-9・
 3/23-9) *一線以下は参加人数

(4) 研修活動

◇OJT(職場内研修)

- ①管理的職員研修 1/31 7名
 ②新採用職員研修(介護力・防災・ようこそ新人さん) 5/11・7/22 15名
 ③感染症学習会 10/28 50名
 ④ワンポイントレッスン(排泄学習会) 8/18・26 9/5 計32名

◇OFF-JT(職場外出張・研修)

- ア 公的出張(県老協総会等) 10回 10名
 イ 中東遠地区職種別研究会 8回 8名
 ウ 高齢者福祉大会「発表」等他の職場外研修 9回 20名
 エ 市内4施設学習会 5回 16名

2 介護部門

(1) 全体総括

テーマを「入居者のニーズに添ったケアを実践するため、職員個々の考察力を高めることによってケアの質を向上させる」とした。

リーダー制の見直しを図り、1日1人リーダー制を実施し、1日の業務レイアウトを行い情報収集、把握、確認、指示等を実践した。フロア間、他職種との調整役なることで統一した対応が行えるように努めた。

主幹、主任を中心に月の業務レイアウトを作成し、副主任がグループのレイアウトの作成を継続して実施した。ポイントとして個別ケア（主に外出）ができるような体制を確立させた。※今年度個別外出8件

居室担当者が「ケア検討」を発信し、PCの他各フロア「ケア検討ノート」の活用等を図ることでケアの統一が以前より図れるようになった。また、ケース記録を点検することで状態の把握、ケアの見直し等を行った。家族への手紙（年3回）、随時の事故報告、面会時の対応、外出時の計画・実践報告、グリーンケアの手紙（21名、その内、家族から返信1名）等、継続して実施している。合同慰霊祭には物故者家族と生前の入居者を語りあう機会ができ、退去されてからも入居者家族との繋がりを感じる事ができた。

介護力向上（トイレ排泄、歩行訓練、常食の提供等）の成果としてテープ式オムツの着用者は0を継続している。また、水分量、歩行距離等のデータのみに捉われるのではなく、入居者の変化を通じて基本的ケアの大切さが徐々にではあるが、理解ができてきている。

(2) 各グループ総括

◎2階「大空グループ」

目標として、①毎日の小さな環境整備、清潔保持を行うこと、②事故に対する意識を高める。勤務表を作成する段階で、1ヶ月に1日は「環境整備の日」とし、1名が各居室、サイドレール清掃、食堂床の清掃、時間の余裕をみて車椅子の清掃を行った。副主任が年度初めから3ヶ月ごとに事故の集計をし、フロアに提示したことにより、各自が事故の傾向、多発者の把握が出来た。

◎2階「輝きグループ」

①オムツ外しへの取り組み

オムツ使用した利用者が入居してトイレで排泄をするという意識が根付いてきており紙パンツまたは布パンツへの変更など職員の意識が以前より高くなってきている。

②個別ケアの実施

2名の利用者への外出支援ができ、利用者と職員が4階へ上がり菊川の街並みを見に行く時間が作り出せてきている。

◎ 3階「愛グループ」

誤薬、服薬ミスを防ぐために投薬時には声を出し利用者の顔を見て確認を行い、服薬介助時には飲み込み確認を必ず行うことを目標としたが職員の入替わり時、薬介助の引き継ぎができず投薬ミスが続いてしまった。利用者が一緒に楽しみ「楽しい」と思える支援については、屋上でトマトやキュウリ作りなどを利用者と一緒にやった。

◎ 3階「若さグループ」

短期利用者（定員 10 人）を含んだグループであることから、短期利用者を判別するため、利用前日に PC ファイル内の写真の有無を確認し、無い場合は当日の担当者が IPAD に写真を保存する様に務めた。情報の共有化については、PC・申し送りノートの活用、持参物についてメモを残すことで、繰り返しの事故や忘れ物は少なくすることができた。入居者の外出ではなぶら市場、七曲池とたこまんカフェ、菊川文庫に出掛け、買い物としてコンビニへ安納芋ソフトを買いに行ったり、焼きそば作りを行い、入居、短期利用者共楽しむことが出来た。また、暴言暴力的行為のある利用者に意図的な関わりを行い、笑顔が見られる様になった。

◎ 「ショートプロジェクト」4 回開催（5/23・8/16・10/28・3/15）

市内 4 施設ショート担当者会議（10/12－5 名参加）で他施設の情報入手することができケアに反映した。ふじのくに型障害者福祉支援事業開始に向けて方向性の確認し、1 月 19 日の先行施設（福寿荘）へ 1 名視察学習を行った。

3 相談員部門

1) ベッド利用率の維持・向上（98.5%）

本年度の退所者は 26 名（永眠者 25 名 医療機関への転院 1 名）で 27 年度改正で入居要件が要介護度 3 以上になったことや周辺の介護事業所の開設、更に在宅介護意識の向上もあり、新規入居までに大幅な日数がかかるなど、大きな影響が出ている。実態を把握すべく、28 年 6 月に全入居申込み者（160 名）を対象に現況調査を実施した。回答を集計した結果、入居対象となる方は 10 名（男性 4 名・女性 6 名）のみという状況であった。要介護度 1・2 を対象とした利用者は市担当課等と連携を図り、女性 1 名の特例入所に繋げた。

2) 家族、利用者のニーズへの寄り添い

家族懇談会（6/4）利用者懇談会（3/9・10）を開催すると共に日常の中からも利用者、家族と直接コミュニケーションを取る事で思いや希望を聴き取る事に努めた。広く浅くなりがちな面があり他職種の協力を得つつ、もっと主体的に行動する事が必要だと感じた。

3) 生活困窮等、社会的弱者へのアプローチ

行政担当課や地域包括支援センター等からの入居依頼に対し、施設の主体的能力を考慮し社会的役割を果たし 28 年度は女性 1 名を特例入居として対応する事ができた。行政関係だけでなく、総合病院からの緊急入居依頼も往々にしてあり、短期利用を含め臨

機に対応してきている。

4) ボランティア受け入れの継続と活動環境の取り組みについて

学生ボランティア等受け入れは、夏祭り（12名）運動会（10名）クリスマス会（9名）。高校生インターンシップ（1名）中学生職場体験学習（2名）。ボランティアは毎回募集人数を大幅に上回る希望者があったため受け入れ枠を増やした。また、活動前には福祉施設を知ってもらうオリエンテーションを実施し、より意味のある活動になるよう努めた。

5) 入居申込受付業務の複数化対応

入居申込み希望者は前年度同様減少している。希望者には可能な限り希望日時での対応ができるよう心掛け、また飛び込みでの申込希望者についても、相談員不在時については、他職種の協力を得て複数化で対応する取り組みの実施から全体的に迅速に対応する事が出来た。

4 医務室（看護）部門

1) 28年度の大きな課題であった中東遠地区看護職員研究会については、訪問薬剤師の講演を実施し、近くて遠い存在と言われる薬剤師の話を看護師が聞くことが出来た。

2) 業務内容の見直しを行い、緊急時等特変のある場合を除き、定時で終わる努力をしてきている。

3) 入居面接を3人（室長・主任・副主任）で担えるような体制となり、家族や相談員の都合を優先できる形がとれてきている。

4) 2名の看護師については感染症対策委員長・褥瘡委員長を担い委員会活動を行った。

5) 感染症に関してはワクチンの接種を行い、全体学習会も行ったが28年度も11名の入居者・職員の感染があり、短期利用を止めざるを得ない状況となった。

6) 介護職員への医療的知識・技術の向上のためのスキルチェック指導を1回目は6月～7月、2回目を11月～12月に行った。

7) 25名の永眠者があり看取り加算は23名が取得できている。看取りについては入居当初から家族に説明し、施設を信頼し穏やかな看取りになるよう継続的に働きかけている。また、28年度初めて施設としての合同慰霊祭を行い看護師も参加した。

5 給食部門

1) 食生活の充実

利用者より出された要望について、介護職員と協議し速やかな対応を行った。内容については、月1回委託業者より給食材料費の収支報告を受け、業務の質的向上に努め、年度末にチェックシートを活用して委託業務内容の見直しを行った。また環境面として椅子に座り足を床に付けて食事をする取り組みを継続して行い、テーブルの高さの調節も個々の身体に合わせるような工夫に努めた。

2) 食事の楽しみを増やす

食生活改善委員会の活動として4年前から実施している「フロアでの食事の盛付」（香

り・匂い)を23回行った。ほぼ毎月1回イベントを行い季節感を取り入れながらイベント食を提供している。昨年度より始めた利用者の誕生日にリクエストを聞き、メニューを取り入れる活動は誕生日カードを送り、喜ばれる食事の提供に努めた。

【行事食】4/1 開園記念日(赤飯・祝い饅頭)、5/5 端午の節句(緋鯉饅頭)、5/11 母の日(カーネーション煉りきり)、7/7 七夕祭り(七夕そうめん・出会い星饅頭)、7/13 お盆(ぼた餅)、7/30 土用の丑(うなぎの蒲焼)、8/15 終戦記念日(すいとん)、9/15 十五夜(お月見饅頭)、9/15 敬老の日(赤飯)、9/22 彼岸(おはぎ)、10/30 ハロウィン(月夜の魔女饅頭)、11/23 勤労感謝の日(赤飯)、12/21 冬至(かぼちゃ料理)、12/23 天皇誕生日(赤飯)、12/25 クリスマス(チキンライス)、12/31 大晦日(年越しそば)、1/1～2 正月(おせち料理・雑煮・干支饅頭)、1/3 新年祝賀会(赤飯・甘酒)、1/7 七草(七草粥)、1/11 鏡開き(お汁粉)、1/15 小正月(小豆粥)、2/3 節分(赤鬼饅頭・節分ボーロ)、2/14 バレンタインデー(ティラミスケーキ)、3/3 雛祭り(ちらし寿司・甘酒)、3/14 ホワイトデー(ハートハク練りきり)3/22 お彼岸(ぼた餅)

3) 食事を取り巻く環境面においては、音(テレビ)、高さ(テーブルと椅子の高さ)、姿勢(床面に足を付ける)については不十分なところもあり今後も継続して取り組みを行う。音については食事中、閑かな環境を作る取り組みも検討していきたい。

4) 常食化への取り組みは、一旦常食まで形態があがっても体調を崩され元の形態へ戻るといった具合に体調の変化が大きく関係するため状況に応じて対応していく。

5) 栄養ケア・マネジメントについては、アセスメントからモニタリングまでの一連の作業が依然として後回しになっており課題として残っている。

6) 衛生管理の徹底

委託業者と共に厨房内の衛生管理に努め、今年度も食中毒の発生を防ぐことが出来た。また食中毒・感染症対策委員として施設内の衛生管理に努めた。

6 各委員会活動報告

1) リスクマネジメント委員会(事故防止・苦情解決・身体拘束廃止・褥瘡対策・個人情報)【内容及び参加者】各委員会をまとめ、管理運営会議後に実施してきている。

4/25・5/27・6/24・7/25・8/25・9/23・10/28・11/25・12/26・1/26・2/23・3/23 全12回

・法人苦情解決第三者定期ヒアリング(第1回28年5月17日・第2回29年1月17日)開催 参加一堀尾孝・朝比奈りう子第三者委員・施設長・副施設長・介護部長・生活相談員・居宅支援事業所長・医務室長・リスクマネジメント委員長

課題として各委員会からの問題提供が少なく一緒に検討した事をリスク委員会で報告をただけで終わってしまった点があり、全体を見てリスク管理の意識を醸成し諸問題を深く検討、研究していく必要があった。

2) 苦情解決委員会

今年度の苦情申し出は1件(案内の誤配布)であり、発生後、関係職員で迅速な対応を行い、早期に解決できた。5/17・1/17に法人苦情解決第三者委員会を開催し、第三者委員に報告し助言を得た。

3) 個人情報保護委員会

チェックシートを全職員対象に実施し個人情報を取り扱う自らの行動を振り返り、意識を高める事が出来た。

4) 身体拘束廃止・虐待防止委員会 10回開催 4/5・5/6・7/7・8/5・9/8・10/7・12/7・1/13・2/8・3/8

月1回、センサーマット使用状況を確認し見直した。また、車椅子の置き場所の徹底、サイドレール3本使用者へのケアや、食事時のエプロン使用についての見直しも実施した。さらに疑似体験（ズボンを引っ張られる体験、アイマスク体験）を職員研修として実施した。

5) 事故防止委員会 開催日 4/4・5/10・6/20・7/29・8/11・9/6・10/11・11/10・12/5・1/10・2/6・3/2

今後事故に繋がりそうなヒヤリハットを2階、3階それぞれで取り上げ、対策を考えフロア職員に周知するよう何でもノートに記載するとともに、居室担当に相談し対策を検討した。服用している精神薬や睡眠薬の投与量、種類、服薬時間の変更等についてCW全体で見直し、看護師と協議したうえで必要に応じて対応した。

6) 褥瘡対策委員会 12回開催 4/18・5/17・6/14・7/19・8/15・9/13・10/21・11/8・12/19・1/27・2/14・3/16

介護用クッションの活用、体位交換等を行い看取り対象者でも創を作らないように工夫することで6名の罹患者の治癒を見た。褥瘡の定義・予防や対応についての勉強会を行なった。(3階7月8日参加者14人・2階10月5日参加者9人)

7) 感染症・食中毒対策委員会

9回開催 (5/16-6・6/21-5・8/12-5・10/6-4・11/5-11・12/15-7・1/12-8・3/9-7)

- ①感染症に対し実績のある清掃消毒業者による訪問指導を受けた。
- ②職員全体会(10月28日)職員50名参加の元に講演「感染症予防と初動対策について」とモデル実技を講師：株式会社OKU 奥健児氏より受けた。
- ③先行感染症対策施設おおすか苑に施設長以下6名が取り組みの内容について訪問学習を行った(11月15日)。
- ④次年度の課題としての取り組み方針を明確にした。

8) 看取り介護委員会 6回開催 (5/23・6/30・8/31・10/24・11/22・2/22)

第1回学習会は、11月12日実施の合同慰霊祭(洞月院：佐々木住職)時に家族・職員間で在りし日・生存中の思い出を懇談し看取りケアのあり方を振り返ることが出来た。第2回学習会は各フロアにおけるグループディスカッションを「苦しくとも生きるか安寧に生きるか」をテーマに話し合った(2/10・3/14)。

9) 医療的ケア対策推進委員会 6回開催 (5/23・6/30・8/31・10/24・11/22・2/22)

①新入職員4名に対し、経管栄養・吸引のDVDを事前に視聴後、指導を行った。

8月15日 2名・11月28日 2名

②各介護職員のスキルチェックを2期間(6/7~8/29・10/14~1/24)において実施した。

10) 衛生委員会 8回開催 (5/10・6/30・8/31・9/29・11/22・12/10・12/22・2/23)

28年度はストレスチェックの実施年度であり、対象職員48名中47名の提出があった。

産業医への面接指導の必要のある者は皆無であった。腰痛ベルトの正しい装着の指導と健康診断で要注意者の指導を行った。

11) 食生活改善委員会

1 食事の楽しみを増やす

①イベント 計10回を実施した。

【イベント食】4/18 餅つき、5/8 手作り柏餅と新茶を楽しむ会、6/30 鮎の炭火焼き、7/16 夏祭り（選択食・お好み焼き・ソフトクリーム・駄菓子）、8/18 流しそうめん、9/10 敬老祝賀会（握り寿司ライブ・紅饅頭）、10/26 さんまの炭火焼、12/19 クリスマススイーツバイキング、2/9 お好み焼き・甘酒パーティー、3/17 駄菓子屋さん

②食べる場での匂いや食を誘う試みーフロアでカレーや麺のかけ汁の盛付 計23回

・カレー盛付 ⇒ 4/14、5/24、6/16、7/27、8/30、10/6、11/1、12/6、3/15

・麺のかけ汁 ⇒ 4/12、4/26、5/12、5/31、10/13、10/25、11/10、11/24、12/1、12/22、1/10、2/7、2/28、3/7

28年度で4年目となり、鍋をフロアに持参すると「今日もおかわり頼むね。」と声を掛けて来る方もいて、利用者に浸透されてきたことを実感している。

③利用者のリクエストメニューの実施 延べ66回

2年度目の取り組みで利用者もその日を楽しみにして、当日は誕生日カードを送り、利用者の希望に応える食事の提供が出来た。

12) 広報委員会

11回開催（5/16-4・6/20-5・7/29-4・8/11-5・10/12-4・11/7-5・12/12-5・1/16-3・2/21-4・3/6-4）

年3回発行した。フロア紹介、委員会等の部署別の記事の掲載し行事なども担当者からの聞き取りを行い臨場感のある記事を作る事が出来た。

13) 防災委員会

28年度の事業として、11月28日に菊川消防署夜間想定立会い避難誘導訓練を実施し、消防署からはヘッドランプの点灯がされていないなどの貴重な指摘を受け、更に12月4日の地域防災の日に合わせた自治会との合同訓練を行った。合同訓練では施設から地域へ出向くことが浸透してきたため自治会から100名弱の参加があり、家庭にあるものの緊急処置など訓練防災意識を高める良い機会となった。

14) 法人苦情解決委員会 2回開催(5/17・1/17)

堀尾孝・朝比奈りう子法人苦情第三者委員の出席を得、開催した。28年度の苦情申し出は1件（案内の誤配布）でその他に事故等の報告も行った。

第4 短期入所生活介護事業所

1) 新規件数の確保増に努めた結果、新規契約者は42件(終了者18件)と大幅に増加した。同時に短期利用から施設入居に繋がるよう努めた。デイ利用者の週末の泊を伴う意向・希望にも沿えるよう努めた。

新規利用者は増加傾向に対して、利用日数が比例して増加していないことと、入居希望者の入居による短期の稼働率の低下が課題である。

2) 29年1月にふじのくに型障害者短期入所事業の認可を取得し稼働率向上の一助となるように努めたが受け入れ態勢の確保や、担当者との調整が今後の課題となる。

3) 感染症等発症に伴い、1週間の受け入れ停止をみたが、最小限に食い止めることができた。

第5 居宅介護支援事業所

1 安定した居宅介護支援の提供に努める

介護保険だけの活用ではなく、インフォーマルな支援も視野に入れた提案や関わりが出来た。また、本格的な3人体制を始めた事により、今迄以上に利用者情報の共有が保て、担当以外の者が対応する場合にも対応が取り易い状況が確立できた。新規受け入れに関しては各担当のバランスを考慮して、業務配分や調整の上受け入れを行った。

関係機関等との連携・協力体制に関しては、定期的な接点だけでなく、連絡会や研修等の集まりに積極的に出向き、良好な関係に留意している。

2 事業所体制と管理体制の構築

定期的に打合せ会議を行うことにより、事業所内ケアマネジャーの業務・状況の共有が図られ、支援についても客観的な視点からの考え方が得られるようになった。

将来的な事業所の在り方を視野に入れた運営を心掛け、新規の相談受け付けから支援の依頼数は、前年比概ね1.5倍になっている。利用者の居住地は市内が全てであり、地域における事業所として認識され、声が掛かる運営が出来ていると考える。

唯一、24時間の連絡体制については、労務上のルールや活用方法、連絡体制に検討する余地があり、今後の課題となっている。

3 法人内人材育成の取り組みと事業継続性の確保

法人内施設介護支援専門員や障害者施設相談員他興味関心のある職員等への呼びかけ年3回の『事例検討会』を行った。また、外部の主任介護支援専門員を含んだ検討会の開催は自分達の業務見直しを含めよい研究機会となっている。

資料編

(平成28年度/平成29年3月31日現在)

特別養護老人ホーム千寿の園

1 介護度別利用(入居)者数

(平成29年3月31日現在)

| | 介護度1 | 介護度2 | 介護度3 | 介護度4 | 介護度5 | 合計 |
|-------|------|------|-------|-------|-------|--------|
| 男性 | 1 | 1 | 3 | 5 | 4 | 14 |
| 女性 | 0 | 0 | 14 | 19 | 20 | 53 |
| 合計 | 1 | 1 | 17 | 24 | 24 | 67 |
| 割合(%) | 1.5% | 1.5% | 25.4% | 35.8% | 35.8% | 100.0% |

| | | | | | |
|--------|------|-----|------|----|-------|
| 平均要介護度 | 4.00 | (男性 | 3.70 | 女性 | 4.10) |
| 平成27年度 | 4.00 | (男性 | 3.73 | 女性 | 4.08) |

2 年齢別利用(入居)者数

(平成29年3月31日現在)

| | 64歳以下 | 65歳～69歳 | 70歳～74歳 | 75歳～79歳 | 80歳～84歳 | 85歳～89歳 | 90歳～94歳 | 95歳以上 | 合計 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|----|
| 男性 | 0 | 2 | 2 | 1 | 4 | 3 | 0 | 2 | 14 |
| 女性 | 1 | 1 | 1 | 2 | 6 | 21 | 12 | 9 | 53 |
| 合計 | 1 | 3 | 3 | 3 | 10 | 24 | 12 | 11 | 67 |

(平成28年3月31日現在)

| | 合計 |
|----|----|
| 男性 | 15 |
| 女性 | 53 |
| 合計 | 68 |

3 利用(入居)者平均年齢

(平成29年3月31日現在)

| | 平均年齢 | 最低年齢 | 最高年齢 |
|----|--------|--------|---------|
| 男性 | 83歳2ヶ月 | 65歳1ヶ月 | 99歳 |
| 女性 | 88歳4ヶ月 | 64歳2ヶ月 | 104歳4ヶ月 |
| 合計 | 87歳3ヶ月 | - | - |

(平成28年3月31日現在)

| | 平均年齢 | 最低年齢 | 最高年齢 |
|----|--------|--------|---------|
| 男性 | 82歳9ヶ月 | 64歳0ヶ月 | 98歳 |
| 女性 | 87歳7ヶ月 | 63歳2ヶ月 | 103歳4ヶ月 |
| 合計 | 86歳7ヶ月 | - | - |

4 在所期間別利用(入居)者数

(平成29年3月31日現在)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 4年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 未満 | 未満 | 未満 | 未満 | 以上 | |
| 男性 | 3 | 5 | 4 | 0 | 2 | 14 |
| 女性 | 19 | 9 | 11 | 4 | 10 | 53 |
| 合計 | 22 | 14 | 15 | 4 | 12 | 67 |

(平成28年3月31日現在)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 4年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 未満 | 未満 | 未満 | 未満 | 以上 | |
| 男性 | 7 | 4 | 0 | 0 | 4 | 15 |
| 女性 | 15 | 14 | 7 | 7 | 10 | 53 |
| 合計 | 22 | 18 | 7 | 7 | 14 | 68 |

5 食事介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

| 区分 | 人数 | 割合 |
|-------|----|--------|
| 全面介助者 | 10 | 14.9% |
| 一部介助者 | 23 | 34.3% |
| 介助なし | 34 | 50.7% |
| 計 | 67 | 100.0% |

(平成28年3月31日現在)

| 区分 | 人数 | 割合 |
|-------|----|--------|
| 全面介助者 | 9 | 13.2% |
| 一部介助者 | 24 | 35.3% |
| 介助なし | 35 | 51.5% |
| 計 | 68 | 100.0% |

6 入浴介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

| 区 分 | 人数 | 割合 |
|--------|----|--------|
| 特別・中間浴 | 47 | 70.1% |
| 一般浴 | 20 | 29.9% |
| 個浴 | 0 | 0.0% |
| 計 | 67 | 100.0% |

(平成28年3月31日現在)

| 区 分 | 人数 | 割合 |
|--------|----|--------|
| 特別・中間浴 | 44 | 64.7% |
| 一般浴 | 22 | 32.4% |
| 個浴 | 2 | 2.9% |
| 計 | 68 | 100.0% |

7 排泄介助状況者数

(平成29年3月31日現在)

| 区 分 | 人数 | 割合 |
|--------------------------|----|--------|
| リハビリパンツでの排泄者(ベッド上) | 2 | 3.0% |
| 紙パンツ又はトイレ介助者、ポータブルトイレ使用者 | 41 | 61.2% |
| 歩行、杖等でのトイレ使用者 | 24 | 35.8% |
| 計 | 67 | 100.0% |

(平成28年3月31日現在)

| 区 分 | 人数 | 割合 |
|--------------------------|----|--------|
| おむつ使用者 | 4 | 5.9% |
| 紙パンツ又はトイレ介助者、ポータブルトイレ使用者 | 39 | 57.4% |
| 歩行、杖等でのトイレ使用者 | 25 | 36.8% |
| 計 | 68 | 100.0% |

8 面会状況

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|
| 人数 | 244 | 274 | 202 | 218 | 243 | 239 | 232 | 233 | 224 | 210 | 213 | 269 | 2,801 | 2,884 |
| 1日平均人数 | 8.1 | 8.8 | 6.7 | 7.0 | 7.8 | 8.0 | 7.5 | 7.5 | 7.2 | 6.7 | 7.6 | 8.6 | 7.7 | 7.9 |

9 外出(帰省)状況

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 人数 | 10 | 7 | 7 | 4 | 4 | 1 | 5 | 1 | 5 | 1 | 3 | 4 | 52 | 70 |
| 日数 | 11 | 8 | 7 | 4 | 4 | 1 | 5 | 1 | 9 | 1 | 7 | 6 | 64 | 109 |

10 入居・退去状況

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--------|
| 入居者数 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 5 | 25 | 26 |
| 退去者数 | 2 | 0 | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 5 | 1 | 2 | 3 | 5 | 26 | 25 |
| 月末在籍者数 | 70 | 70 | 69 | 69 | 68 | 68 | 70 | 67 | 69 | 69 | 67 | 67 | 823 | 824 |

(平成28年度)

| 性別 | 入 居 | | | 退 去 | | | 平成27年度 | | | |
|-------------|---------|----|----|----------|----|----|--------|----|-------------|----|
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 入居 | 退去 | | |
| 人数 | 3 | 22 | 25 | 4 | 22 | 26 | 26 | 25 | | |
| 入居前及び退去時の状況 | 居 宅 | | 15 | 死 亡 | | 25 | 居宅 | 17 | 死亡 | 22 |
| | 病 院 | | 5 | 他施設・長期入院 | | 1 | 病院 | 3 | 他施設 長期入院 | 3 |
| | 施設(老健等) | | 5 | 居 宅 | | 0 | 老健等 | 6 | 居宅 | 0 |

※療養型は施設とする

11 苦情受付状況

1) 苦情受付件数

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 苦情受付件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |

2) 苦情の分類一覧

(平成28年度)

平成27年度

| 苦情の分類 | 件数 |
|----------------|----|
| ケアの内容に関わる事項 | 0 |
| 個人の嗜好・選択に関わる事項 | 0 |
| 他の利用者・職員に関わる事項 | 0 |
| 面会者に関わる事項 | 0 |
| 財産管理等に関わる事項 | 0 |
| 施設内規に関する事項 | 0 |
| その他 | 1 |
| 合計 | 1 |

| 苦情の分類 | 件数 |
|----------------|----|
| ケアの内容に関わる事項 | 3 |
| 個人の嗜好・選択に関わる事項 | 0 |
| 他の利用者・職員に関わる事項 | 0 |
| 面会者に関わる事項 | 0 |
| 財産管理等に関わる事項 | 0 |
| 施設内規に関する事項 | 0 |
| その他 | 0 |
| 合計 | 3 |

12 他医療機関への受診状況

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 平成27年度 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 内科 | 2 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | 5 | 9 |
| 精神科 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 | 2 |
| 脳外科 | | | | | | | | | | | 1 | 3 | 4 | 1 |
| 整形外科 | 1 | 1 | | 2 | 2 | | | 3 | | | | | 9 | 11 |
| 外科 | | | 2 | 3 | | | | | | | | | 5 | 2 |
| 泌尿器科 | | | | | | | | | | | | | 0 | 5 |
| 眼科 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 3 |
| 皮膚科 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | 23 |
| 歯科 | 4 | 1 | 4 | | 3 | | | 1 | | | | 1 | 14 | 22 |
| 耳鼻科 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | 2 | 3 |
| 合計 | 7 | 4 | 7 | 6 | 5 | 2 | 3 | 4 | 0 | 0 | 2 | 4 | 44 | 81 |

13 入居者・利用者医療状況

1) 入院状況

(平成28年度)

| 治療科 | 人数 | 治療科 | 人数 | 平成25年度 | |
|------|----|------|----|--------|---|
| 内科 | 1 | 泌尿器科 | 0 | 5 | 1 |
| 循環器科 | 0 | 整形外科 | 3 | 0 | 1 |
| 外科 | 0 | 精神科 | 0 | 0 | 0 |

2) 処置状況

(平成29年3月31日現在)

| 処置状況 | 人数 | 処置状況 | 人数 | 平成28年3月31日現在 | |
|------|----|-------------|----|--------------|----|
| 経口与薬 | 66 | 経管栄養 | 2 | 65 | 2 |
| 創傷処置 | 8 | バルーンカテーテル挿入 | 0 | 6 | 0 |
| 軟膏塗布 | 10 | 浣腸、摘便 | 11 | 10 | 11 |
| 点眼 | 9 | | | 9 | |

3) 嘱託医師定期外往診状況()は電話指示依頼

(平成28年度)

| 月 | 回数 | 月 | 回数 | 平成27年度 | |
|----|-------|-----|----------------|----------------|-------|
| 4月 | 4(17) | 10月 | 1(4) | 2(2) | 4(12) |
| 5月 | 0(1) | 11月 | 3(20) | 6(13) | 4(11) |
| 6月 | 1(10) | 12月 | 1(11) | 5(11) | 1(10) |
| 7月 | 1(9) | 1月 | 2(19) | 0(7) | 3(10) |
| 8月 | 3(10) | 2月 | 4(19) | 2(19) | 2(8) |
| 9月 | 1(6) | 3月 | 7(18) | 1(6) | 4(7) |
| | | | 28(144) | 32(111) | |

4) オンコール出勤回数・()は電話対応のみ回数

(平成28年度)

| 月 | 回数 | 月 | 回数 | 平成27年度 | |
|-----|-------|-----|---------------|---------------|-------|
| 4月 | 1(10) | 10月 | 0(0) | 12(2) | 3(3) |
| 5月 | 0(4) | 11月 | 4(9) | 6(7) | 1(1) |
| 6月 | 1(0) | 12月 | 1(6) | 0(2) | 2(9) |
| 7月 | 0(2) | 1月 | 2(5) | 0(4) | 5(10) |
| 8月 | 2(4) | 2月 | 4(7) | 5(5) | 3(6) |
| 9月 | 1(3) | 3月 | 3(2) | 1(3) | 4(5) |
| 合 計 | | | 19(52) | 32(57) | |

14 所在状況

(平成29年3月31日現在)

| 保険者名 | 在籍者数 | 入居・退去状況 | | 平成28年3月31日現在 | | |
|------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | | 入居 | 退去 | 在籍者数 | 入居 | 退去 |
| 菊川市 | 57 | 21 | 24 | 62 | 23 | 23 |
| 掛川市 | 7 | 2 | 1 | 6 | 1 | 1 |
| 牧之原市 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 島田市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 浜松市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 合 計 | 67 | 25 | 26 | 68 | 26 | 25 |

15 入居申込み(待機者)状況

(平成29年3月31日現在)

| 市区町名 | 申込者数 | 平成28年3月31日現在 |
|------|------------|--------------|
| 菊川市 | 114 | 165 |
| 掛川市 | 7 | 9 |
| 御前崎市 | 3 | 2 |
| 静岡市 | 1 | 2 |
| 島田市 | 2 | 2 |
| 牧之原市 | 2 | 2 |
| 磐田市 | 2 | 2 |
| 県外 | 3 | 3 |
| 合 計 | 134 | 187 |

16 ボランティア(慰問)状況

(平成28年度)

| 月 日 | 団体名(代表者名)および個人名 | 内 容 |
|----------|----------------------|------------------|
| 4/13~3/8 | 松本静苑(書道クラブ) 計11回 | 書道指導 |
| 6/7~1/25 | 洞月院住職法話 全5回 | 法話・紙芝居 |
| 4/8~1/27 | 傾聴・おはなしボランティア 計20回 | 利用者とのコミュニケーション |
| 4/11・5/9 | カラオケボランティア(佐野他1) 計2回 | 利用者と一緒にカラオケで歌を歌う |
| 7月16日 | 学生ボランティア11名 | 行事(夏祭り)のお手伝い |
| 9月10日 | 光陽荘バンド「ドロップス」 | 敬老祝賀会での楽器演奏 |
| 10/15・16 | 3丁目・4丁目・5丁目上・柳町自治会 | 菊川市祭典・踊り披露 |
| 11月13日 | 小中学生ボランティア10名 | 行事(運動会)のお手伝い |
| 12月25日 | 小中学生ボランティア9名 | 行事(クリスマス会)のお手伝い |

17 ボランティア(奉仕)状況

(平成28年度)

| 団体名(代表者名)および個人名 | 内容 | 年間日数 | 延人数 | 団体名(代表者名)および個人名 | 内容 | 年間日数 | 延人数 |
|-----------------|-------|------|-----|-----------------|----|------|-----|
| 民生・児童委員 | 清掃・傾聴 | 9 | 15 | | | | |
| | | | | | | | |

18 事故調査状況

(平成28年度)

| <所見> | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 怪我 | 転倒 | 9 | 8 | 5 | 17 | 9 | 6 | 7 | 9 | 7 | 11 | 10 | 10 | 108 |
| | 転落・滑落 | 2 | 8 | 1 | | 8 | 4 | 4 | 5 | 3 | 4 | 7 | 6 | 52 |
| | 外傷 | 11 | 16 | 16 | 20 | 8 | 8 | 7 | 3 | 7 | 12 | 10 | 13 | 131 |
| 食物 | 誤嚥・誤飲 | | 2 | | | | | | | | | | | 2 |
| | 異食 | | 3 | 3 | 1 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 1 | 15 |
| 薬 | 誤薬 | | | 1 | | | 1 | | | 2 | | | | 4 |
| | 投薬ミス | 3 | 1 | 3 | 3 | | 2 | 1 | | 1 | 6 | 1 | 4 | 25 |
| | 投薬忘れ | | 1 | 1 | | | | | 2 | 1 | | | | 5 |
| ケア | 爪切り | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 忘れ物 | 1 | | 4 | 3 | | 1 | 1 | 3 | | | 1 | 1 | 15 |
| 物損 | 私物紛失 | | | | 2 | | | | | | | | | 2 |
| | 物損 | 5 | | | | | 3 | 1 | 1 | | | | 1 | 11 |
| 利用者同士のトラブル | | 2 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | | 7 |
| 合計 | | 33 | 41 | 36 | 48 | 27 | 26 | 21 | 24 | 21 | 34 | 31 | 36 | 378 |

28年度は項目変更したので27年度と比較はなし

19 実習状況

(平成28年度)

| 学校名等 | 実習名 | 年間延回数 | 延人数 |
|--------------|-----------|-------|-----|
| 静岡こども福祉専門学校 | 介護福祉士単位実習 | 2 | 4 |
| 静岡県立短期大学 | 介護福祉士単位実習 | 1 | 2 |
| 静岡市歯科衛生士専門学校 | | 0 | 0 |
| 合計 | | 3 | 6 |

| 平成27年度 | |
|--------|----|
| 2 | 4 |
| 3 | 5 |
| 2 | 2 |
| 7 | 11 |

20 短期入居生活介護利用状況

(平成28年度)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|
| 利用者人数 | 35 | 36 | 34 | 38 | 36 | 33 | 39 | 41 | 36 | 27 | 34 | 39 | 428 | 424 |
| 総利用者数 | 212 | 201 | 199 | 224 | 201 | 185 | 191 | 201 | 197 | 128 | 184 | 215 | 2,338 | 2,517 |

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 月平均利用率 | 平成27年度 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------|
| 1日平均 | 7.0 | 6.4 | 6.6 | 7.2 | 6.4 | 6.1 | 6.1 | 6.7 | 6.3 | 4.1 | 6.5 | 6.9 | 6.4 | 7.20 |
| 送迎回数 | 83 | 79 | 74 | 95 | 99 | 92 | 91 | 97 | 79 | 54 | 90 | 92 | 85.4 | 87.3 |

21 居宅介護支援事業所利用状況(平成29年3月31日)

1) 新規登録者(要介護度者+要支援者)

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 男性 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 15 | 6 |
| 女性 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 19 | 12 |
| 合計 | 1 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1 | 3 | 6 | 3 | 3 | 3 | 3 | 34 | 18 |

2) 要介護度契約者(介護度別1～5)

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 新規実績 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 3 | 1 | 4 | 22 | 17 |

3) 契約終了者(死亡及び施設入所等者)

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 男性 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 | 5 |
| 女性 | 0 | 1 | 1 | 4 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 17 | 6 |
| 合計 | 1 | 1 | 3 | 5 | 3 | 4 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 24 | 11 |

4) 介護度別実績契約件数

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--------|
| 要介護1 | 20 | 16 | 17 | 16 | 17 | 16 | 17 | 20 | 22 | 20 | 20 | 23 | 224 | 228 |
| 2 | 26 | 29 | 28 | 29 | 28 | 28 | 27 | 29 | 27 | 28 | 28 | 28 | 335 | 294 |
| 3 | 15 | 16 | 16 | 15 | 14 | 13 | 13 | 13 | 11 | 13 | 12 | 13 | 164 | 207 |
| 4 | 10 | 10 | 10 | 10 | 9 | 7 | 7 | 8 | 10 | 11 | 9 | 9 | 110 | 103 |
| 5 | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 | 28 | 17 |
| 合計 | 74 | 73 | 72 | 72 | 71 | 66 | 66 | 72 | 72 | 74 | 72 | 77 | 861 | 849 |

5) 包括支援センターより介護予防委託実績件数

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平成27年度 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--------|
| 件数 | 12 | 12 | 12 | 10 | 12 | 10 | 9 | 11 | 11 | 12 | 13 | 13 | 137 | 116 |